

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大郷町役場			代表者名	町長 石川 良彦
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	022-359-3111
担当者役職	係長	担当者氏名	鎌田 侑希	連絡先E-mail	
住所	981-3592 宮城県大郷町粕川字西長崎5-8				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	トップセミナー	事業名	DX推進のための地域（役場内外）の気運醸成
概要	大郷町が掲げる「大郷町総合計画」 および「大郷町DX全体方針」のもと、デジタル技術を活用したDXを推進しています。本セミナーは、DX推進の鍵となる町長をはじめとするトップ層を対象に、DXの必要性や先進事例への理解を深めてもらうことを目的としています。組織全体のDXへの意識を統一し、迅速な意思決定を可能にすることで、職員のDX推進に対するモチベーションを高めます。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援 AI活用 教育情報化／情報教育 地域ビジネス シェアリングエコノミー		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有		令和8年1月9日	フォローアップ	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月16日	支援・助言&フォローアップ(実地)	10時00分	11時30分	
				活動時間（分）	90
2-2. 派遣場所	会場名	大郷町役場		最寄駅	利府駅
	所在地	宮城県黒川郡大郷町粕川字西長崎5-8		最寄駅からの交通手段	JR東北本線利府駅下車徒歩約15分（役場へは乗り換えが必要） 役場まで約30分

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	前回のアンケート結果をもとに研修内容を組んでいただき、受講者の要望にかなった内容となっていた。またAI活用例の一端を示していただき、今後生成AIを導入した際にスムーズに実務レベルで利用につなげられるベースを作っていただいた。受講した多くの職員が現在の業務内容に課題を感じており、生成AIなどを活用して課題を解決していこうとする意識が芽生えた研修となった。
アドバイザーへの要望事項	今後も継続的なご指導・ご助言をいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	21人
	属性	自治体職員	住民
	人数	21	0
		0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・幹部職員を中心とした推進体制の未整備 変化する社会情勢に対応できるような管理体制が整っておらず、管理職の管理意識も欠如している。 ・職員からの地域DX推進に関する積極的な提案やアイデアの不足 チャレンジしやすい土台作りをするために、管理職のマネジメントが不足している。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	急速に変化する社会情勢に対応し、市民サービスの質の向上と職員の働きがいとを両立させるため、管理職がDXの重要性を理解し、組織変革を主導できるリーダーシップを養うことを目指す。 また管理職の適切な管理のもと、若手職員が自ら考え実行していける組織体制を構築していくことを目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	行政運営およびDX推進における管理職のリーダーシップ体制の強化と生成AIによる業務改革に焦点を当てて、支援を受けました。 ・管理職のリーダーシップ育成に向けた研修の実施 ・DX推進に必要なマネジメントスキルや組織変革の重要性についての啓発 ・生成A Iを活用した業務改革(たたき台の作成)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	研修会を行ったことで、職員にDX推進の意義、手法、管理職としてのマネジメントスキル、組織変革の重要性について共有することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	研修から一定期間を置いた後に、研修受講者に対し、研修の理解度や意識喚起についてのアンケート調査を行い、DX推進の意識醸成が図られた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	解決された内容はない。 組織文化や変革の浸透に一定の時間を要している 管理職や職員の意識改革はアンケートのとおり一定の成果を上げているが、DXや働き方改革を組織全体に浸透させ、文化として定着させるには、引き続き継続的な取り組みと時間が必要。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修の中で印象に残ったこととして、生成AIをたたき台として活用した業務改革(61%)が最も高く、次いでI TとD Xの違い(38%)、対外的な広報文章などのグラフィカル化(38%)と続いた。またA Iを活用してみたい業務として、文章や政策作成の補助(95%)が最も高く、次いで議事録の要約や情報の分類(52%)、画像文字認識(O C R)による紙資料のデータ化(38%)と続いた。今回の研修は課長補佐級を主な対象者としていたため、携わる機会が多い企画立案についてAIを利用したいと感じた職員が多かった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員のDX推進における意識改革を行い、役場全体としての機運醸成を目指す。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

- - -

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

